

関西広域産業共創プラットフォーム News Letter

2023(令和5)年
11月末発行

● **12月18日(月)～20日(水) うめきた(ナレッジキャピタル)にて、企業や研究機関、スタートアップが集まる様々なプログラムが行われます。ぜひ、会場に足をお運びください!**

● (12/19、20開催) [イノベーションストリームKANSAI 7.0](#)

うめきた2期地区開発プロジェクト「グラングリーン大阪」でめざましいイノベーション創出の取り組みを紹介・発信するとともに、登壇者、出展者、関係者、参加者の皆様とともにイノベーション創出機運を高める都市型カンファレンスです。7回目の今回は、①体験型展示会、②トークセッション、③ワークショップを中心に、“うめきた Fusion～ディーデックで拓く関西の未来～”をスローガンとして掲げ、研究シーズから先行的なプログラムや活動まで、2日間にわたり様々なプログラムを開催します。

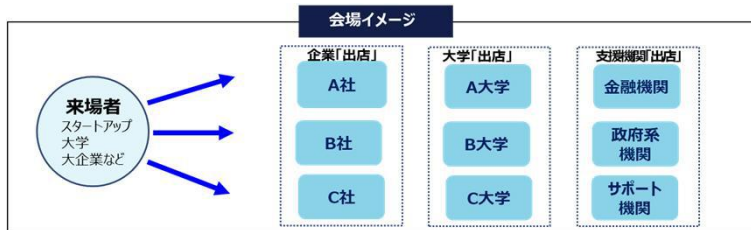
【開催予定コンテンツの一部をご紹介します】

- 12/19、20 共通 体験型展示会 (主に、関西の大学・研究機関等展示) ←MOBIO枠で、大阪技術研・兵庫県工技Cも出展!
- 12/19 AM U-FINO (うめきた未来イノベーション機構) の活動紹介など
- 12/19 PM 近畿経済産業局、関西学院大学のプログラムなど
- 12/20 AM BiocK (バイオコミュニティ関西) 連携セミナー、U-FINO事業 (URBP) の紹介
- 12/20 PM NEDO (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構) 主催セミナー、KSII (関西イノベーションイニシアティブ) ゼブラ認定セレモニー

● (12/20開催) [うめきた響合の場](#) ←関西広域産業共創プラットフォームとして出展!

本イベントは、大企業、大学、支援機関のオープンイノベーション部門の方が集い、提案・相談を受け付ける「出店(でみせ・ブース)」を出していただき、スタートアップをはじめとする企業や大学等からの個別の提案・相談を受け付けていただくものです。今回は、はじめて「フードテック(広義)」にテーマをしぼり、「出店」側からのニーズ・課題を提示いただけます。

大企業・スタートアップ、大学等との響合(出会いと共創)の機会を提供する取り組みであり、スタートアップ等の企業や研究機関等がアイデアやシーズを持ち込み、マッチングを行うことで、新たなイノベーション創出につなげることをめざしています。



● 同時開催:

(12/20開催) [WestShip 2023](#)

(12/18、19開催) [Hack Osaka 2023 - 2nd. Edition -](#)、(12/19開催) [関西ビジネス知財フォーラム2023](#)

昨年の様子

～事務局便り～

当PF事業も2年目に入り、この1年間の実績が気になるところです。実績とは例えば「存在感」ということになるでしょうか。

①ご利用頂くお客様、②事業をサポートして頂いている支援機関、さらには③検索等の情報空間での存在感ということになります。

先般、上記③についてネット検索で調べてみました。当PF事業と類似の組織やシステムは既に数え切れないほど多数存在しており、これらはベンチマークともなり、ある意味ではライバルともなるものです。その中で、誕生して間もない当PFがどのように認知されているかは大変興味深いものです。

調べた結果は次の通りでした。「オープンイノベーション&プラットフォーム」で検索すると29.5万件ヒット、「産業共創&プラットフォーム」では17.7万件ヒットしました。当PFは2番目(No.2/17.7万件)にランクされています。さらに「技術相談」で検索すると3,120万件、「技術相談&関西」では41.5万件がヒットし、当PFは3番目(No.3/41.5万件)にランクされ、さらに「技術相談&関西&プラットフォーム」では、No.1/24.5万件となりました。

この結果には、事務局一同素直にうれしく思っていますが、今後は顧客満足度にも注目して、リピーターを増やしていくなど、質的な改善に努めていきたいと思っております。皆様からの各種情報のご提供に加えて、今後の活動に関する率直なご意見を頂ければ幸いです。

● ジャパン・テキスタイル・コンテストで イノベーション賞を受賞

(京都府織物・機械金属振興センター)

当センターが開発した「太陽光発電する丹後ちりめん」が、
ジャパン・テキスタイル・コンテスト2023でイノベーション賞を受
賞しました！

この織物は太陽光発電糸や電極線を通す通路をジャカード
で作った丹後ちりめん、縫製不要で、織物構造の中に太陽
光発電糸を組み込めるウェアラブル素材です。

明るい環境で6 V程度発電し、太陽や照明を浴びるとインタ
ラクティブに明るい音楽や映像を起動できます。

今後は、織物事業者への技術移転を進める予定です。



太陽光発電糸を組み込んだ丹後ちりめん

※詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.pref.kyoto.jp/oriki/textilecontest2023.html>

● 試験分析器の使用方法や活用事例 を動画で紹介

(滋賀県工業技術総合センター)

滋賀県工業技術総合センターでは、利用開放している試験
分析機器を皆様に活用していただくため、機器の使用手法や
活用事例を解説動画として作成し、**YouTube** で公開してい
ます。

利用の多い機器や新しく導入した機器などの動画を随時追
加していく予定です。ぜひご覧ください。



※詳しくはこちらをご覧ください。

<https://www.youtube.com/channel/UChPfxk9hBGjsjzLGP2fvwMg>

● コア技術確立事業の動画を公開

(和歌山県工業技術センター)

和歌山県工業技術センターでは、市場動向や企業ニーズの調査・
分析から開発課題を設定し、県内産業の新たな展開に貢献できる
5～10年先の技術「コア技術」の開発を行っています。

これら「コア技術」の開発を加速化するため、平成29年度に「**コア技
術確立事業**」を立ち上げ、緊急性の高いテーマの開発に取り組んでま
いりました。

この度、令和2年度～4年度（第二期）に取り組んだ3テーマの研
究成果について動画にまとめたところですので、是非ご視聴ください。

※下記をクリックいただくと、動画をご覧いただけます。

[【コア紹介】 太陽光アップコンバージョンフィルムの開発](#)

[【コア紹介】 化成品の生産性向上のための光反応手法の開発](#)

[【コア紹介】 微生物の育種技術の高度化](#)

さらに、当センター刊行物である技術情報誌「テクノリッジ」No.334
でも同事業成果を特集しています。

お読みいただくことで、より理解いただきやすいと思いますので、こちらも
併せてご覧ください。

※下記をクリックいただくと、テクノリッジ記事をご覧いただけます。

<https://www.wakayama-kg.jp/pub/docs/334.pdf>

● 冷熱衝撃試験機を導入

(滋賀県東北部工業技術センター)

冷熱衝撃試験機は、高温と低温の温度環境を交互に切り替
えることにより、急激な温度変化に対する電子部品等の耐性、
材料の熱膨張、収縮による影響を評価することができる機械
です。

ご利用料金は、県内料金税込**1,020円/1h・増800円/1h**。
関西広域連合域内の企業さまは同料金でご利用いただけます。



※詳しくはこちらをご覧ください。

https://info.shiga-irc.go.jp/public/113m00_bihin.php?kinou=view&KID=1723